

健康長寿・データヘルスの推進について

【担当省庁】厚生労働省

健康寿命の延伸を図るには、健康・医療・介護等のデータに基づく一人ひとりへのきめ細やかな健康づくり対策（データヘルス）を、ライフステージに応じて切れ目なく実施することが重要である。

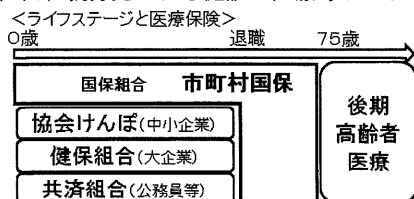
健康・医療・介護等の情報をビッグデータとして活用可能にする「**保健医療データプラットフォーム**」を早期に構築し、**人生100年時代に向けてデータヘルスに取り組める環境を整備していただきたい。**

また、構築に当たっては、**地方自治体等が、二次医療圏や市町村等を単位とするデータに基づき、地域の健康課題や個人の健康阻害要因を明らかにし、保健事業と介護予防事業の一体的な実施など効果的なデータヘルスを講じることができるよう**していただきたい。

なお、都道府県が市町村や民間企業と連携して、**加入する保険者を限定せずにデータヘルスに取り組むことのできる新たな財政支援制度を創設**していただきたい。

【現状・課題等】

- 2020年度からの運用を目指し、健康・医療・介護データの第三者提供の制度化や匿名での連結解析を可能とする「保健医療データプラットフォーム」が構築予定
- 定年退職というライフステージの大きな変化を迎え、前期高齢者となる60歳代へのデータヘルスについては、都道府県と市町村が連携して、健康・医療・介護のデータに基づく疾病予防・重症化予防などの保健事業と生活機能の改善を図る介護予防事業を一体的に実施することが、健康寿命の延伸にとって重要
- 国民健康保険調整交付金や介護保険調整交付金は、事業対象が被保険者等の範囲が厳密に定められており、府民全体への一体的な施策展開のための財政支援が必要
- 世代、就労先による健診・医療等データの管理主体の変遷



| | |
|---------------|-----------------------------|
| 京 都 府 の担当課 | 健康福祉部 高齢者支援課 (075-414-4570) |
| | 医療保険政策課 (075-414-4576) |
| | 健康対策課 (075-414-4724) |

【京都府の取組】

■健康長寿・データヘルス推進プロジェクトの概要

京都府では、市町村や民間企業と連携してライフステージに応じた切れ目ない健康増進対策による府民の健康寿命の延伸を目指し、地域の健康課題の分析やPDCAサイクルに沿った効果的な施策展開を推進することを目的とし、平成30年6月に、庁内横断組織となる「健康長寿・データヘルス推進プロジェクト」を設置

■きょうと健康長寿・データヘルス推進事業 69,000千円

| 区分 | 事業 | 内容 |
|-------------------|----------------------|---|
| 環境整備 | きょうと健康会議（仮称）の開催 | ○多様な主体が一堂に会する機会を創出し効果的な取組をマッチング |
| 働き盛り世代や健康無関心層への対策 | 民間企業と連携した健康づくり | ○民間ノウハウを活かした健康づくりインセンティブ制度の構築 ○理美容室と連携したオーラルケア対策 ○きょうと健康づくり実証企業認証 |
| | 中食世代に対する健康おばんざいの普及 | ○スーパー等と連携し、中食等のおばんざいに塩分量を表示 |
| データ分析に基づく健康づくり対策 | データ分析に基づく心疾患発症予測システム | ○死亡率が高い心疾患発症予備軍を予測し、発症リスクを可視化 |
| | 糖尿病重症化予防対策 | ○人口透析への移行を防ぐために保健指導体制を充実 |
| | 適正服薬指導体制の構築 | ○医薬品の重複投薬解消のため服薬情報を一元管理 |
| | 介護保険データ分析による市町村支援 | ○高齢者の自立支援・重症化予防のために市町村が行うデータ分析を支援 |
| | HP作成・データ活用能力向上 | ○府民の健康状態を見える化するための情報を掲載 |